

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		Yくまーず未来 甲斐					公表日	2024年 11月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者が多い日には活動室以外の空いている部屋やスタジアムを用いて、人数を分散して落ち着いて過ごすことができるように配慮しました。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		完全バリアフリーとは言いませんが、常に職員が見守る中で安全を確保したうえで生活・活動を行っています。	階段の昇り降りの際には順番を守ってゆっくりと、追い越さないことを約束にして、転落防止のために職員が利用者の前後についていくことを習慣づくようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		昂った気持ちを落ち着いたり、騒がしい空間が苦手で不安定になった児童が移動できる空間を確保しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングを行い、当日の支援並びに支援の振り返りと見直しを行い、質の向上に努めています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務改善につなげております。	今回のアンケートから頂いたご意見を活かし、より良いサービスの提供に努めていきます。ご協力ありがとうございました。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の機会を確保し、随時積極的に受講しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		保護者様に毎月活動予定表を配布しています。公表についてはHUGシステムの毎日の連絡帳で様子をお知らせしています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用開始時のアセスメントシートのほか、保護者様との面談や連絡帳でのやり取り、お子様の日々の様子からニーズをくみ取り、個別支援計画を作成しております。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて、発達検査の結果をお持ちいただき、参考とさせていただきます。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的を実施するモニタリングや、日々のお子様の様子、学校等他機関の情報を基に、一人ひとりに適切な支援の内容を設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の活動計画書は複数の職員で確認し、チェックを行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事等を必ず取り入れながら子どもたちが楽しく色々な経験ができるように考え活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・基本的に集団活動の場ではありませんが、利用児の状況により、支援員が個別に関わって情緒の安定を図るなど個別配慮を行うようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日その日行う活動についての打ち合わせや連絡事項の伝達をするミーティングの場を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員が記入した連絡帳やケア記録を他職員も確認した上で、職員同士で気になる点や支援の成果を振り返る機会を作っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		学習・活動への参加には本人の希望によって個別の対応をすることをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や担当者など適任者を選んで出席します。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供等を行うことができます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現段階ではそこまでの問題点はないので、助言等は受ける機会はない状況です。	今後必要に応じて研修等を受けていく準備があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流のみを目的とした活動は行っておりませんが、近隣の公園や児童館へ出かけることで、二次的に交流が生まれる場面がありました。	今後も地域に根ざした活動を行っていきたいと考えております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		要請があれば参加する体制があります。関連するものとして、事業者連絡会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳や送迎時に保護者からの相談に応じたり、電話、面談等で細やかに相談助言を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約前に職員から保護者様に利用者負担等、重要事項の説明をした上で、保護者様用に重要事項説明書をお渡ししています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて関係機関も交えて話し合いの場を設ける体制を整えています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は夏祭りを開催し、利用者の家族同士の交流の場を設けるようにしました。	保護者参加型の行事を企画し、保護者同士の交流の場を設けていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○*		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	意思を伝達する手段としてメモパッドで筆談をしたり、イラストカードなどを用いたり、視覚的に伝えやすい方法で、互いの気持ちを伝え合う働きかけを行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	夏祭りのような行事を通して、地域の方々とふれあう機会を作ることができるように計画をしています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	地震や火災等の自然災害の避難訓練や、防犯訓練を行い、事業所内での想定外の出来事への対応方法を職員、児童と一緒に確認をしています。	一年の訓練の内容を更に具体的に計画していきたいと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	活動時間中の避難訓練を実施しました。	今後も定期的な訓練を継続します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者記入の健康状況票により把握しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。おやつ準備をするキッチンにアレルギー表を掲示し、誰でもすぐに確認できるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	全職員で共有できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	日常の支援の中で虐待につながると思う行動をスタッフ間で協議しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。	